

「広島県地球温暖化対策実行計画」の令和2年度調査結果について

1 趣旨

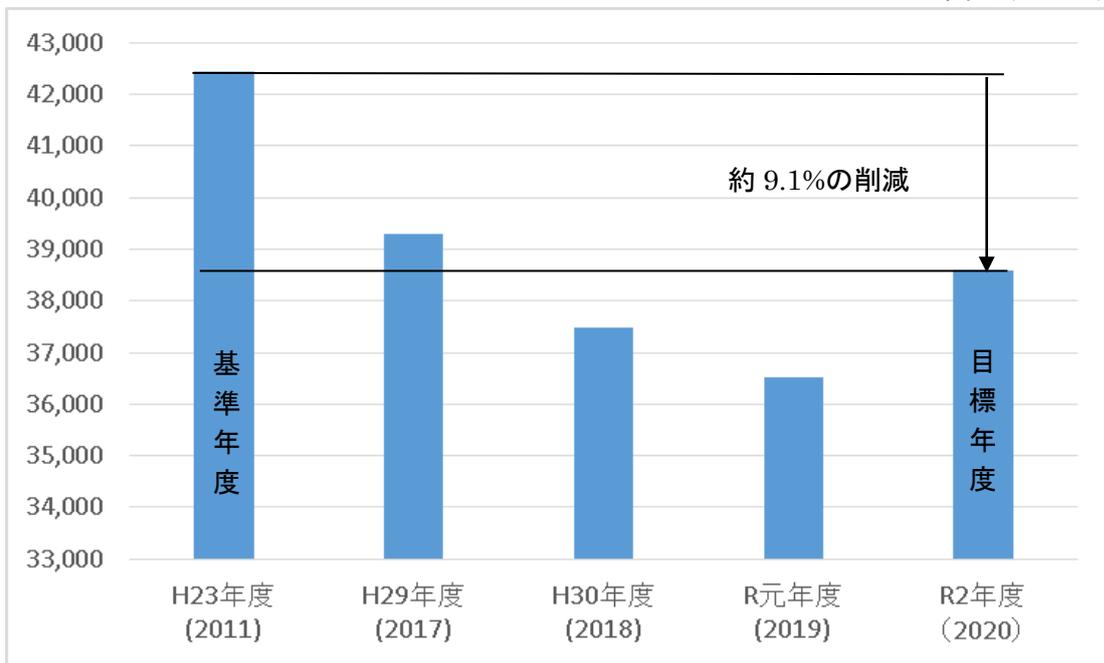
県の事務・事業から排出される温室効果ガスを抑制するため、「第4期広島県地球温暖化対策実行計画」（平成29年度～令和2年度）に基づき、省エネルギー・省資源に取り組んだ結果について、次のとおり取りまとめた。

「第4期広島県地球温暖化対策実行計画」では、期間中である平成29年度から令和2年度で4%以上（年平均1%以上）の削減、基準年度である平成23年度から9%以上の削減を目標としている。

2 温室効果ガス排出量の推移

(1) 年度別の排出量

単位 (t-CO₂)



(2) 評価

令和2年度の県の事務事業で排出される温室効果ガスは、基準年度から9年間で9.1%の削減となっており、年間平均で1%以上の削減目標を達成した。

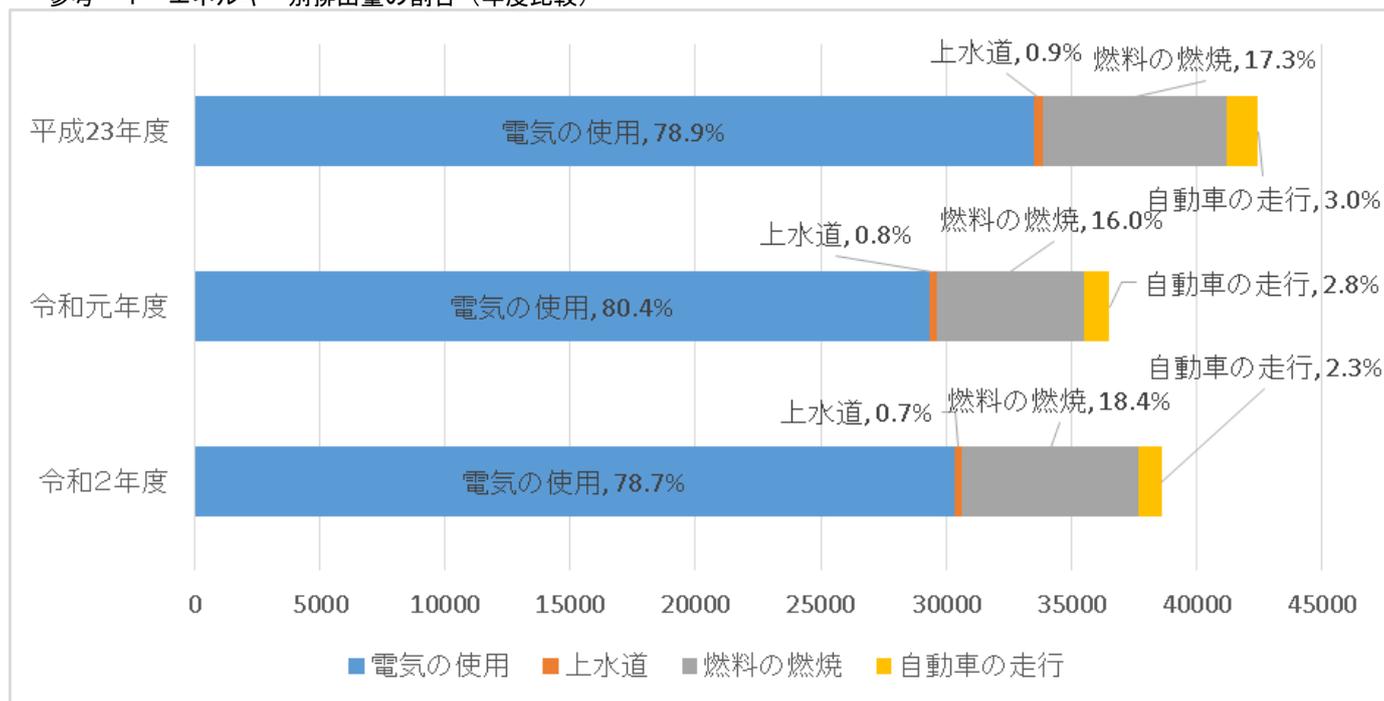
3 エネルギー別排出量 (R2年度実績)

(単位: t-CO₂)

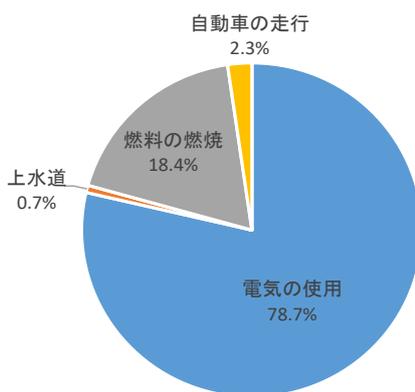
項目	基準年度 (H23年度) 排出量	前年度 (R元年度) 排出量	R2年度		年度比較			
			排出量	構成比	対前年度 増減量	対前年度 増減比	対基準年度 増減量	対基準年度 増減比
電気の使用	33,489	29,359	30,351	78.7%	992	3.4%	▲3,138	▲9.4%
上水道の使用	361	282	265	0.7%	▲17	▲6.0%	▲96	▲26.6%
燃料の燃焼	7,321	5,834	7,081	18.4%	1,247	21.4%	▲240	▲3.3%
自動車の走行	1,262	1,034	889	2.3%	▲145	▲14.0%	▲373	▲29.6%
合計	42,433	36,509	38,586	100%	2,077	5.7%	▲3,847	▲9.1%

(注) 合計に誤差が生じているのは、小数点以下を四捨五入した結果による。

参考－１ エネルギー別排出量の割合（年度比較）



参考－２ エネルギー別排出量の割合（令和2年度）



4 評価

令和2年度では、令和元年度と比較して電気の使用と燃料の燃焼で増加しており、合計5.7%の増加となった。増加の要因としては、災害対応等の時間外労働による電気の使用増加、全体的に暖冬ではあったが一部で寒い時期があったことに加え、新型コロナウイルス感染症感染防止のため換気を行ったことにより、灯油ストーブの使用時間が増えたことによる燃料の燃焼増加が起因であると推測される。

また、電気の使用や燃料の燃焼については、全体の9割以上を占めており、削減率も低いことから、今後も、重点的に削減を行う必要があると考えられる。

5 今後の対応と課題

第5期実行計画では、本県の地球温暖化対策の基本となる「第3次広島県地球温暖化防止地域計画」との整合性を図り、目標年度である令和7年度に基準年度となる平成25年度比で15.8%の削減を目指している。

再生可能エネルギーの導入の促進や、第5期実行計画（令和3年度～令和7年度）に記載している目標達成のための取組について、より一層の推進を行っていくことが必要である。